

WorkWithPlus 8 へのアップグレード について

本書では、WorkWithPlus (WWP) バージョン 7.1 以降を適用して開発した KB をバージョン 8 以降にアップグレードして引き続き開発する場合の手順について説明しています。

重要：バージョン 8 では、レスポンシブ Web デザイン（以降、RWD）に対応した新しいテンプレートが、テーマ追加時に、既存の Main テンプレートと置き換えられる形で提供されます。RWD に対応するには、新テンプレートや新インスタンスにこれまで構成してきた内容を、反映し直す必要があります。

RWD に対応するかどうかや、テンプレートのカスタマイズの有無によって、KB のアップグレードには、大きく分けて次の 3 つのシナリオが考えられます：

RWD 対応しない	1. これまでの KB と同様のデザインを継続する場合
RWD 対応する	2. いままでテンプレートをカスタマイズして使用していない場合 3. 新テンプレートをカスタマイズして利用する（いままでテンプレートをカスタマイズして使用していた）場合 a) 旧バージョンの Main テンプレートを RWD 化する場合 b) 旧バージョンのユーザーテンプレート(別名)を RWD 化する場合

それぞれのシナリオに応じたアップグレード方法について、後述の各セクションで説明します。

1. これまでの KB と同様のデザインを継続する場合

テンプレートのご利用の有無に関わらず、従来の WWP の UI を継続して使用する場合は、次のアップグレード手順に従います。

1. 旧バージョンで開発した KB のバックアップを取ります。
2. [WWP 8](#) をインストールします。WWP のインストール方法については「[WorkWithPlus 8 インストールガイド](#)」を参照してください。
3. GeneXus IDE より該当の KB を開き、[ツール] > [WorkWithPlus] > [すべての WorkWithPlus パターンインスタンスの適用] と選択します。

4. [ビルド] > [すべてリビルド] と選択します。

これでアップグレードは完了です。

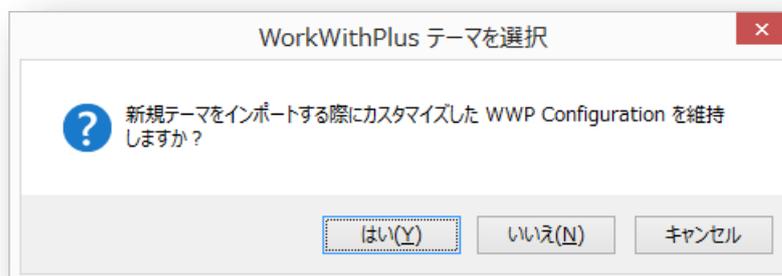
参考：テーマのインポート操作をしない限り、テンプレート等が置き換えられることはありません。

2. いままでテンプレートをカスタマイズして使用していない場合

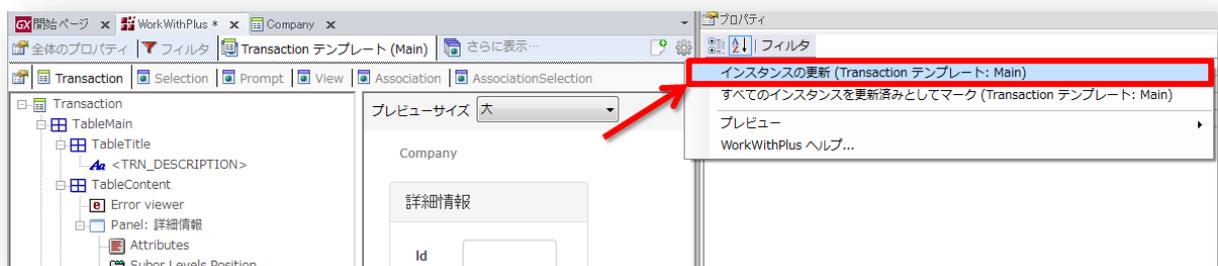
各インスタンスは Main テンプレートを使って構成されています。WWP 8 での Main テンプレートの構造変更に伴い、テンプレートをカスタマイズしていない場合でも、各インスタンスの再構成およびカスタマイズの手動での保守・再作成作業が必要になります。次のアップグレード手順に従います。

1. 旧バージョンで開発した KB のバックアップを取ります。
2. [WWP 8](#) をインストールします。WWP のインストール方法については「[WorkWithPlus 8 インストールガイド](#)」を参照してください。
3. GeneXus を起動し、[設定] > [パターン] > [WorkWithPlus] と選択します。
4. [ツール] > [WorkWithPlus] > [WorkWithPlus テーマをインポート] と選択します。

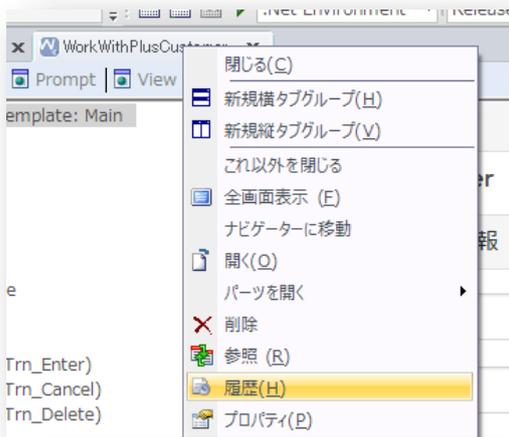
次のようなカスタマイズしたテーマを維持するかどうかの確認ダイアログが表示されます。



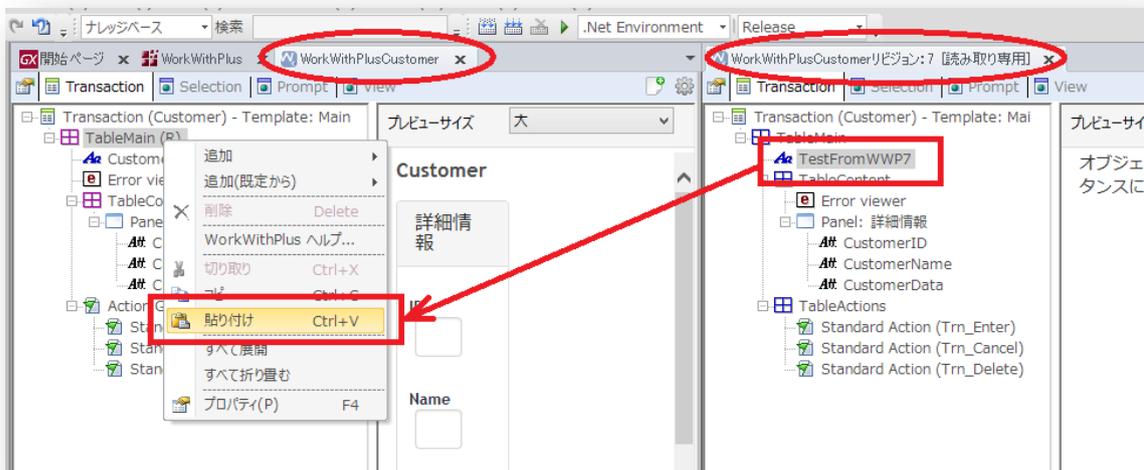
5. [はい]を選択します。
Main テンプレートが、RWD に対応した新テンプレートで初期化されます。
6. 新しいテンプレートをベースに各インスタンスに反映します。右端の歯車のアイコン  から[インスタンスの更新(Transaction テンプレート:Main)]を選択します。



- 履歴から従来のインスタンスで定義した内容を新しいインスタンスに反映させます。従来の WorkWithPlus のインスタンスを開きます。
- WWP インスタンスのタブを右クリックし、[履歴]をクリックします。



- 下図で示すように、右側に表示されている旧バージョンの要素をコピーし、左側に表示されている新しいインスタンスにペーストします。すべての要素に対してこの作業を行います。

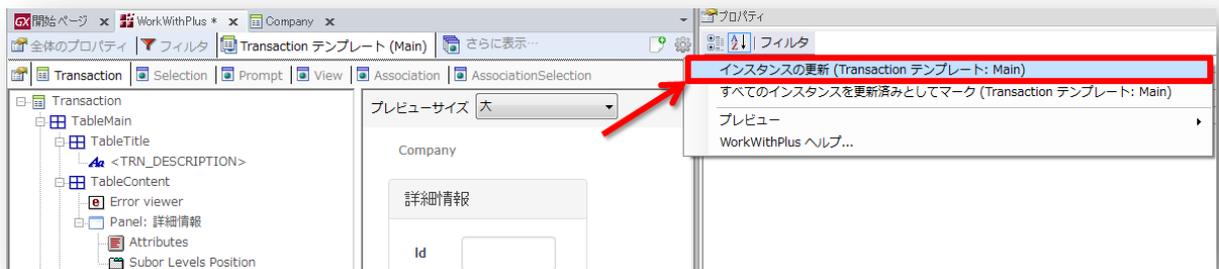


- [ビルド] > [すべてリビルド] と選択します。
これでアップグレードは完了です。

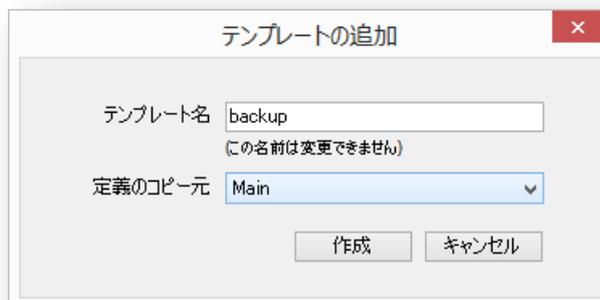
3. 新テンプレートをカスタマイズして利用する（いままでテンプレートをカスタマイズして使用していた）場合

前述のとおり、新しいバージョンのテンプレートの構造変更により、新しい Main テンプレートはテーマのインポート時に、Main テンプレートを初期化される形で提供されます。そのため手動でこれまで行ったカスタマイズ部分を新しい Main テンプレートにコピー & ペーストする必要があります。また各インスタンスにも、手動での反映が必要になります。

1. 旧バージョンで開発した KB のバックアップを取ります。
2. [WWP 8](#) をインストールします。WWP のインストール方法については「[WorkWithPlus 8 インストールガイド](#)」を参照してください。
3. GeneXus を起動し、[設定] > [パターン] > [WorkWithPlus] と選択します。
4. 右端の歯車のアイコン  から[インスタンスの更新(Transaction テンプレート:Main)]を選択します。

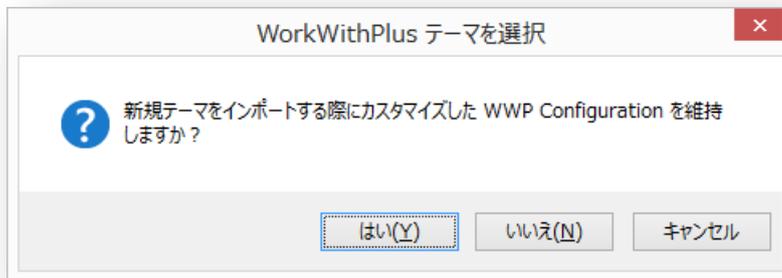


5. 従来の Main テンプレートを別名で保存し、退避します。右端にある緑色の+マークのついたファイルアイコン  をクリックします。次のようなダイアログが表示されます。



6. [テンプレート名]に任意の名前を指定し、[定義のコピー元]から[Main]を選択してから[作成]ボタンをクリックします。
7. [ツール] > [WorkWithPlus] > [WorkWithPlus テーマをインポート]と選択します。

次のようなカスタマイズしたテーマを維持するかどうかの確認ダイアログが表示されます。



8. [はい]を選択します。

Main テンプレートが、RWD に対応した新テンプレートで初期化されます。旧バージョンのカスタマイズした Main テンプレートを RWD 用のテンプレートとしてアップグレードするには、次の「[a\) 旧バージョンの Main テンプレートを RWD 化する場合](#)」を参照してください。旧バージョンのカスタマイズしたテンプレート (ユーザーテンプレート) を RWD 用のテンプレートとしてアップグレードするには、後述の「[b\) 旧バージョンでユーザーテンプレート\(別名\)を RWD 化する場合](#)」を参照してください。

a) 旧バージョンの Main テンプレートを RWD 化する場合

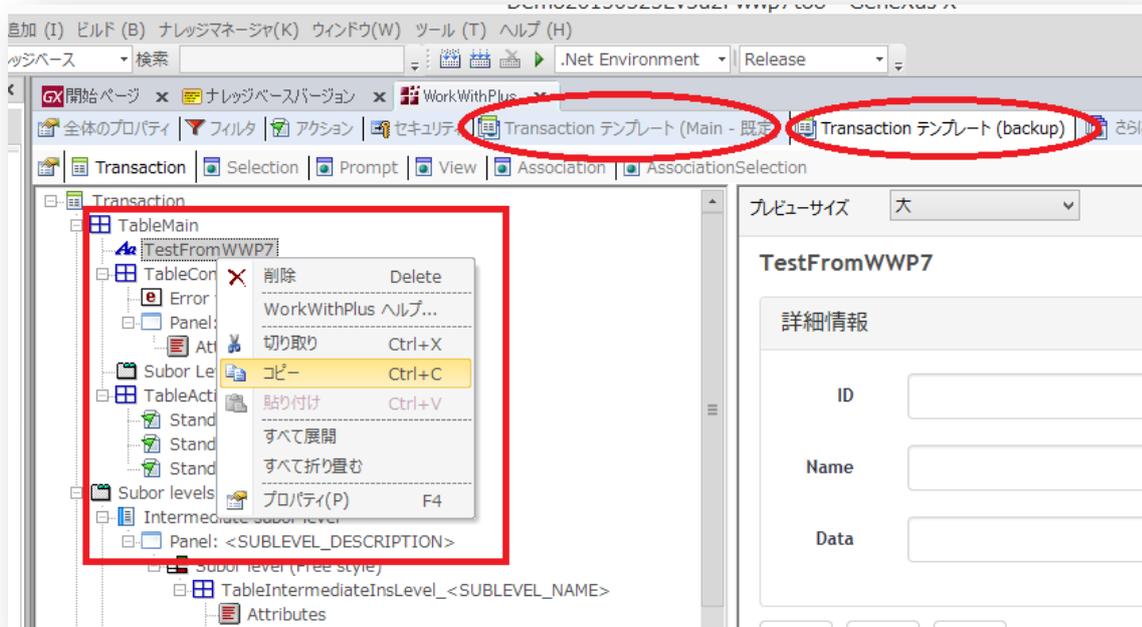
前述のとおり、旧バージョンの Main テンプレートは、RWD に対応した新しい Main テンプレートで上書きされるため、前のセクションの手順 6 でバックアップ保存したテンプレートの内容を、新しい Main テンプレートにコピー & ペーストします。次の手順に従います。

9. 履歴から従来の Main テンプレートで定義した内容を新しい Main テンプレートに反映させます。

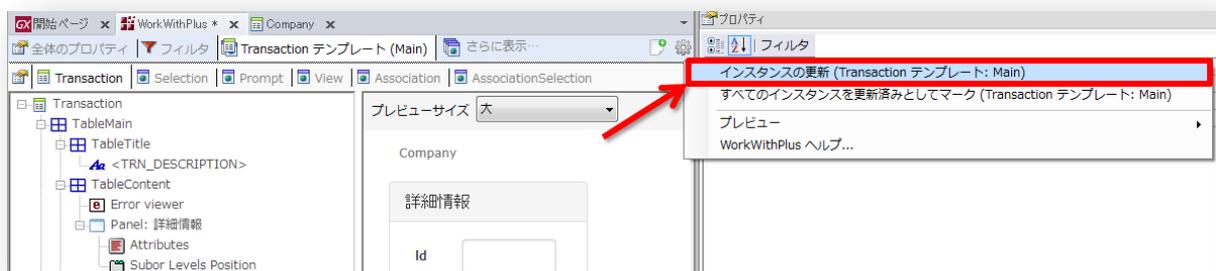
WorkWithPlus の settings を開きます。

10. WWP Settings のタブを右クリックし、[履歴]をクリックします。

- 下図で示すように、右側に表示されている旧バージョンの Main テンプレートのエレメントをコピーし、左側に表示されている新しい Main テンプレートにペーストします。すべてのエレメント(カスタマイズ要素)に対してこの作業を行います。

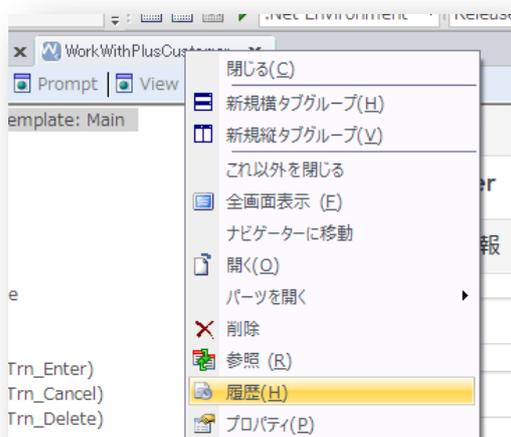


- 履歴から従来のインスタンスで定義した内容を新しいインスタンスに反映させます。右端の歯車のアイコンから[インスタンスの更新(Transaction テンプレート:Main)]を選択します。

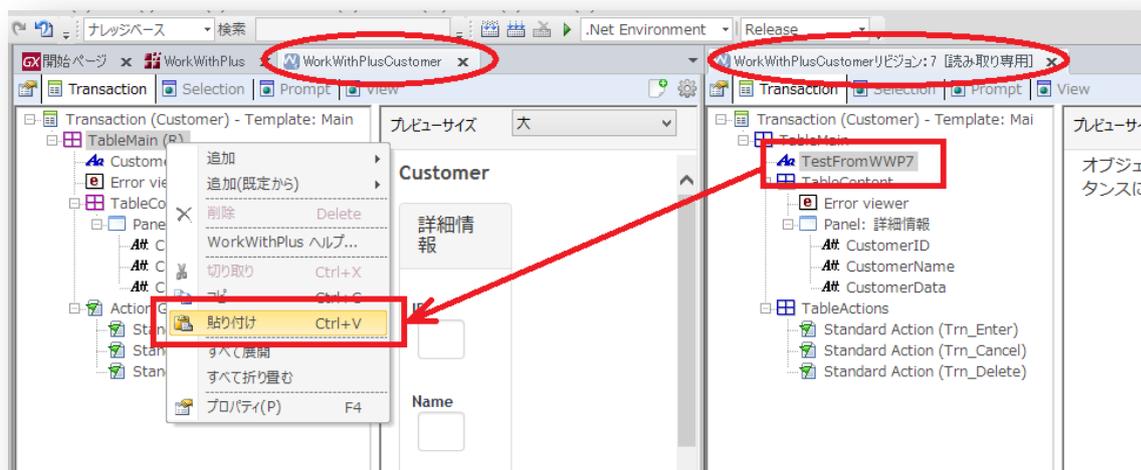


- 従来の WorkWithPlus のインスタンスを開きます。

14. WWP インスタンスのタブを右クリックし、[履歴]をクリックします。



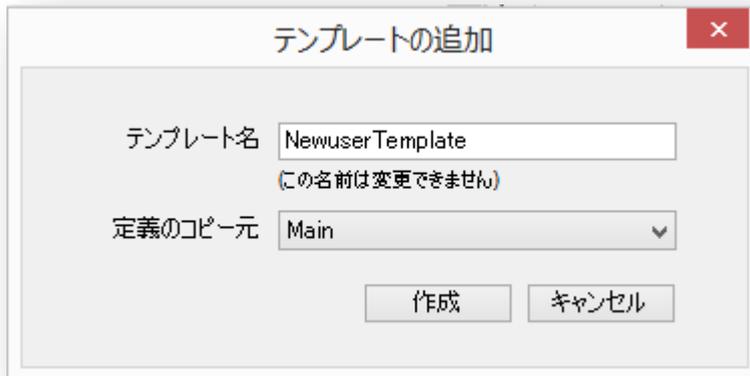
15. 下図で示すように、右側に表示されている旧バージョンの要素をコピーし、左側に表示されている新しいインスタンスに反映します。



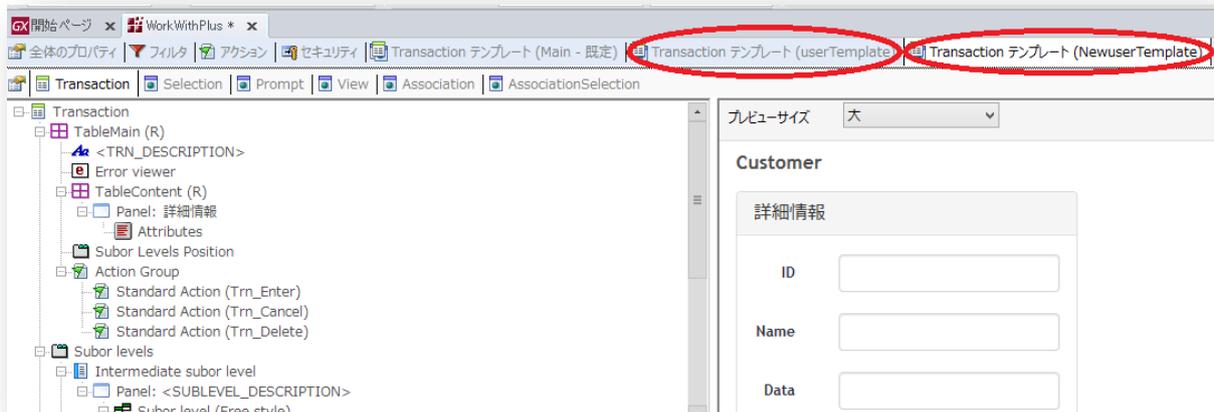
16. 上記 13~15 の手順をすべてのインスタンスに行います。
 17. [ビルド] > [すべてリビルド] と選択します。
 18. これでアップグレードは完了です。

b) 旧バージョンのユーザーテンプレート(別名)を RWD 化する場合

従来のユーザーテンプレートを引き続き利用できます。前のセクションで用意した新しい Main テンプレートを基に、RWD に対応した新しいユーザーテンプレートを作成し、該当するインスタンスすべてに対して新しいテンプレートを適用します。

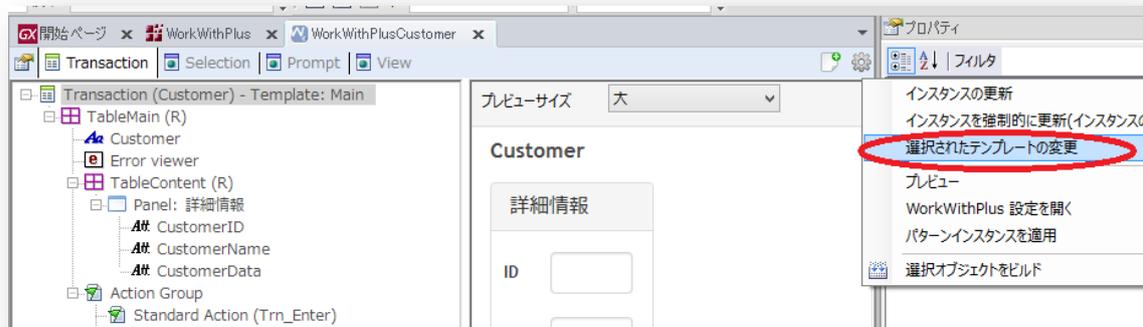


9. 下図で示すように、ユーザーテンプレートのエレメントをコピーし、新規に Main から作成した新しいユーザーテンプレートにペーストします。すべてのエレメントに対してこの作業を行います。

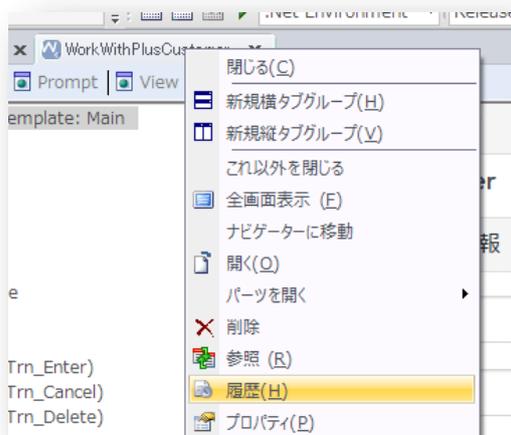


10. RWD に対応した新しいテンプレートを適用したい WWP インスタンスを開きます。

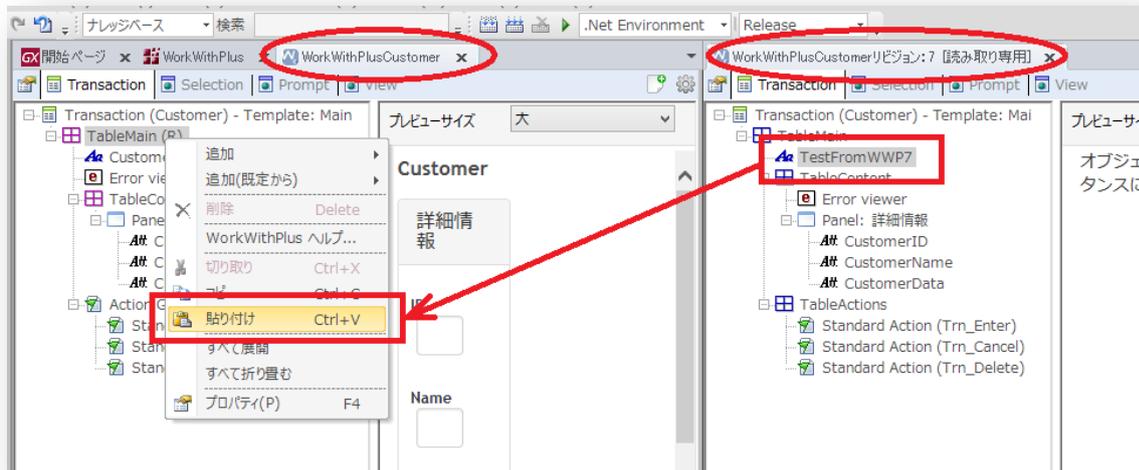
- 右端の歯車のアイコン  から[選択されたテンプレートの変更]を選択し、新しく作成したテンプレートを指定します。



- 履歴から従来のユーザーテンプレートで定義した内容を、新しいインスタンスに反映させるため、次の操作を行います。
- WWP インスタンスのタブを右クリックし、[履歴]をクリックします。



14. 下図で示すように、右側に表示されている旧バージョンの要素をコピーし、左側に表示されている新しいインスタンスに反映します。



15. 上記 11~14 の手順をすべてのインスタンスに行います。
16. [ビルド] > [すべてリビルド] と選択します。

これでアップグレードは完了です。

GeneXus Japan Inc.

Copyright © 2015 GeneXus Japan Inc. All rights reserved.

本書には正確な情報を記載するように努めました。ただし、誤植や制作上の誤記がないことを保証するものではありません。

本書に記載のその他の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。GeneXus Japan Inc. は他社製品の性能または使用につきましては一切の責任を負いません。

ジェネクス・ジャパン株式会社

〒141-0031 東京都品川区西五反田 2 丁目 27 番 3 号

電話番号 : 03-6303-9381 FAX : 03-6303-9980

<http://www.genexus.jp>

2015 年 7 月 作成